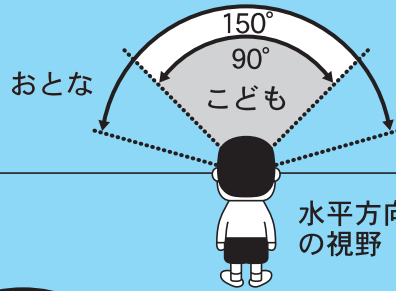


チャイルド ビジョン

(幼児視界体験メガネ)

このメガネは、大人が
幼児の視界を体験するためのものです。



きりぬく

きりぬく

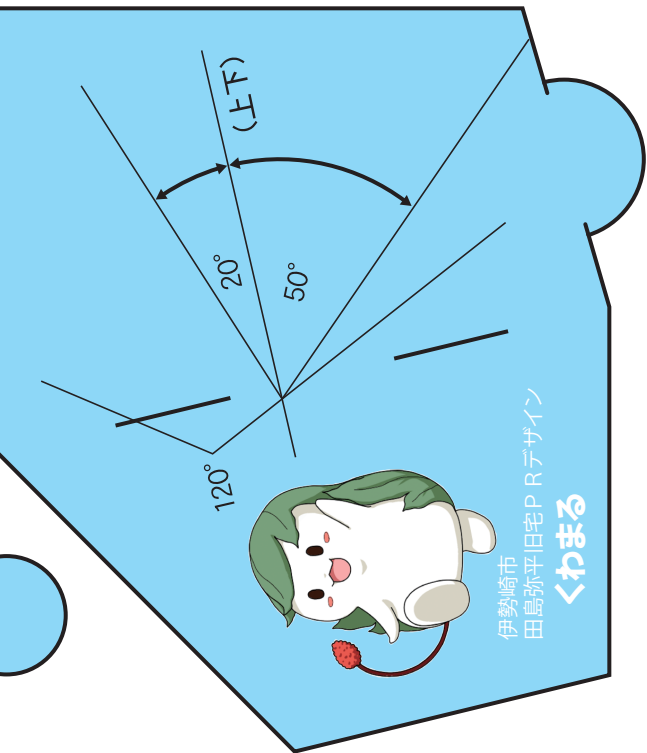
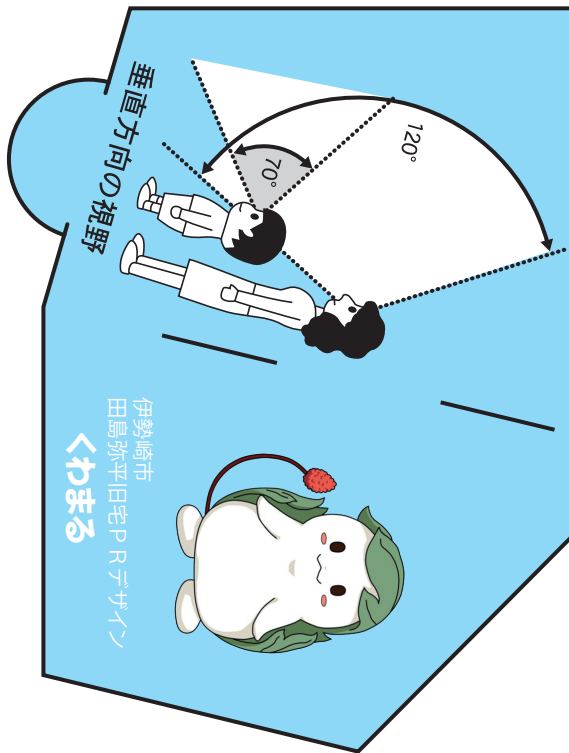
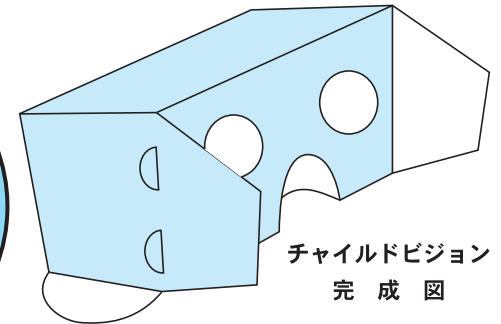
きりぬく



伊勢崎市

制作協力：横浜市、テラダクラフトスタジオ 寺田松雄

- [作り方]
- 切りとり線
 - 折り線



これだけしか 子どもには みえてない！

子どもの目線で教えることの必要性

大人は気がついて、子どもは気がつかない。それは、子どもの視野の狭さと、子どもの目の高さ、大人に比べて低いことが見える範囲を狭くしています。

子どもの安全確認が大人よりも大変なことがよくわかります。

道路を渡る前には、まず「止まり」、体の向きをかえて右左をよく「見る」ことを、その場で繰り返し教えましょう。

予想もつかない子どもの行動

子どもは大人が思いもよらない行動をとることがあります。ひとつのことに注意を集中するとほかのことが目に入らない。いろいろなことに注意を向けることが出来にくい。という子どもの特性からです。